

## 地球温暖化の影響について

地球温暖化が進行すると、夏の猛暑や強い雨が更に激しくなり、暑さによる健康被害、大雨による土砂災害や水害、高温による農作物の被害などの影響があると考えられています。

「出典：気候変動適応情報プラットフォーム」



気候変動(地球温暖化)に対しては、緩和策(温室効果ガスの排出削減など)はもちろんのこと、被害の回避・軽減を図る適応策に取り組むことが重要とされています。(参考：気候変動適応計画(令和3年10月22日閣議決定))

地球温暖化の影響や適応については、気候変動適応情報プラットフォーム(国立環境研究所)をご参照ください。



気候変動適応情報プラットフォーム  
(国立環境研究所)

## (参考) 予測シナリオについて

本リーフレットでは、気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第5次評価報告書(AR5)で用いられたRCP2.6シナリオとRCP8.5シナリオに基づき将来予測を行っています。

RCP2.6シナリオでは、21世紀末(2081-2100年)の世界平均気温が、工業化以前※と比べて約2℃(0.9~2.3℃)上昇する可能性が高いことから、本リーフレットでは「**2℃上昇シナリオ**」と表記しています。これは、**パリ協定の2℃目標が達成された世界**であり得る気候の状態に相当します。RCP2.6はIPCC第6次評価報告書(AR6)のSSP1-2.6に近いシナリオです。

RCP8.5シナリオでは、21世紀末(同上)の世界平均気温が、工業化以前と比べて約4℃(3.2~5.4℃)上昇する可能性が高いことから、本リーフレットでは「**4℃上昇シナリオ**」と表記しています。これは、**追加的な緩和策を取らなかった世界**であり得る気候の状態に相当します。RCP8.5はIPCC AR6のSSP5-8.5に近いシナリオです。

※1750年より以前の期間を示しますが、世界的な観測が行われるようになった1850-1900年の観測値で代替しています

## 全国の情報はこちら

「日本の気候変動2020」  
(文部科学省・気象庁、令和2年12月公表)



## 愛知県の情報はこちら

気候変化レポート  
— 関東甲信・北陸・東海地方 —



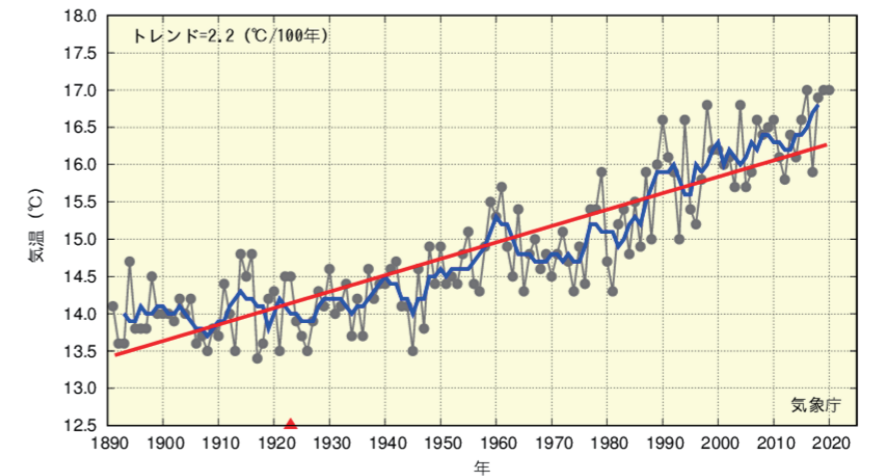
愛知県の気候変動  
— このリーフレット —



# 愛知県の気候変動

「日本の気候変動2020」(文部科学省・気象庁)  
に基づく地域の観測・予測情報リーフレット

## 名古屋市のこれまでの気温の変化



名古屋市の気温は100年あたり約2.2℃上昇しています。  
愛知県の将来の気候はどのようになるのでしょうか。

このリーフレットでは、20世紀末と比較した21世紀末の将来予測を、以下2つのシナリオについて示しています(詳細は裏表紙をご覧ください)。

### 2℃上昇シナリオ(RCP2.6)

21世紀末の世界平均気温が工業化以前と比べて約2℃上昇。  
パリ協定の2℃目標が達成された世界。

### 4℃上昇シナリオ(RCP8.5)

21世紀末の世界平均気温が工業化以前と比べて約4℃上昇。  
追加的な緩和策を取らなかった世界。



名古屋地方気象台  
東京管区気象台

愛知県名古屋市千種区日和町2-18 TEL: (052)751-5124  
東京都清瀬市中清戸3-235 TEL: (042)497-7219

このリーフレットは印刷用の紙にリサイクルできます

令和4年3月

名古屋地方気象台・東京管区気象台



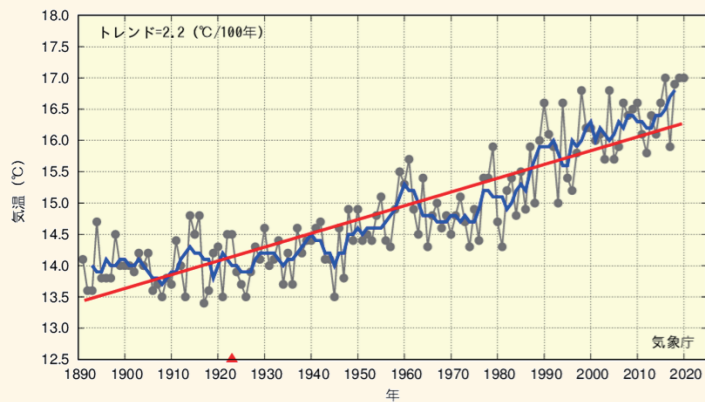
# 年平均気温の変化

➤ 21世紀末には年平均気温が約1.3℃/約4.2℃上昇（2℃/4℃上昇シナリオ）

これまで

名古屋(名古屋市)では年平均気温が100年あたり**約2.2℃**上がっています。

名古屋(名古屋市)の年平均気温

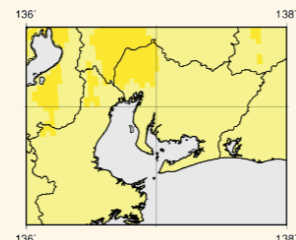


観測場所の移転による影響を補正したデータを使用しています。

これから

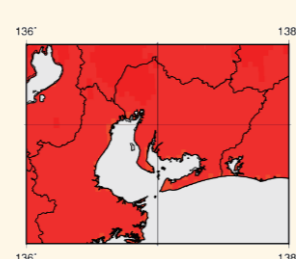
愛知県を平均した変化量を示す

2℃上昇シナリオ



約1.3℃  
上昇

4℃上昇シナリオ



約4.2℃  
上昇

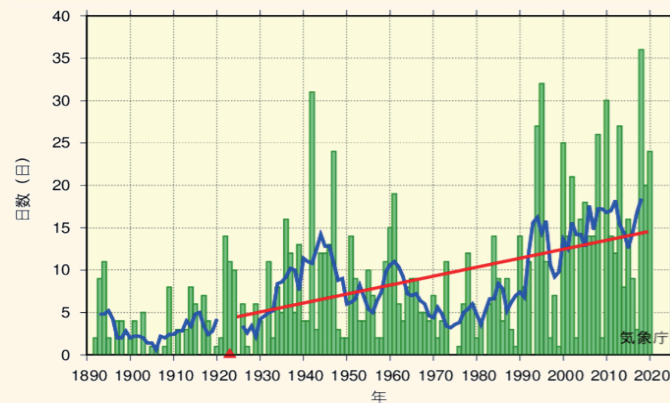
# 猛暑日や熱帯夜などの変化

➤ 21世紀末には猛暑日が約6日/約34日増加（2℃/4℃上昇シナリオ）

これまで

名古屋(名古屋市)では猛暑日の年間日数が10年あたり**約1.1日**増えています。

名古屋(名古屋市)の年間猛暑日日数



名古屋の観測地点は1923年に移転しているため長期変化傾向は1924年以降のデータで評価しています。

これから

愛知県を平均した変化量を示す

2℃上昇シナリオ

猛暑日	6日程度増加	↑
真夏日	19日程度増加	↑
熱帯夜	16日程度増加	↑
冬日	13日程度減少	↓

4℃上昇シナリオ

猛暑日	34日程度増加	↑
真夏日	62日程度増加	↑
熱帯夜	60日程度増加	↑
冬日	31日程度減少	↓

猛暑日: 日最高気温35℃以上 真夏日: 日最高気温30℃以上 熱帯夜: ここでは日最低気温25℃以上 冬日: 日最低気温0℃未満

→ 産業や生態系など広い分野への大きな影響と健康被害の増大

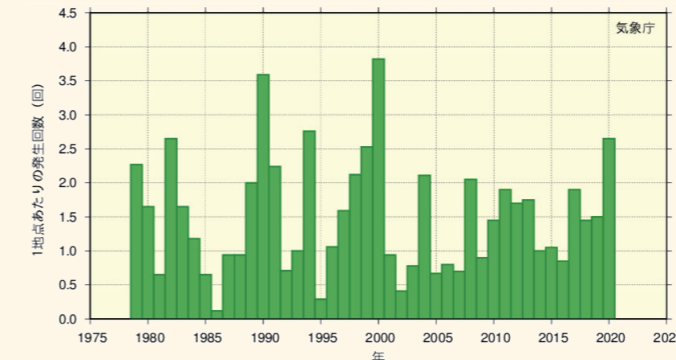
# 雨の変化

➤ 21世紀末にはバケツをひっくり返したように降る雨\*の発生が-/  
約1.4倍に（2℃/4℃上昇シナリオ）

これまで

愛知県では1時間降水量30mm以上の発生回数に有意な変化はみられませんが、最近10年間（2011～2020年）の平均年間発生回数は、統計期間の最初の10年間（1979～1988年）と比べて**約1.2倍**に増えています。

愛知県の1時間降水量30mm以上の発生回数変化



これから

愛知県を平均した変化量を示す

2℃上昇シナリオ

愛知県では1時間降水量30mm以上の雨の予測は信頼性が低いため評価できません。

4℃上昇シナリオ

愛知県では1時間降水量30mm以上の雨は**約1.4倍**に増加。

地域単位での予測は不確実性が高いことに注意

\*バケツをひっくり返したように降る雨: 1時間降水量30mm以上

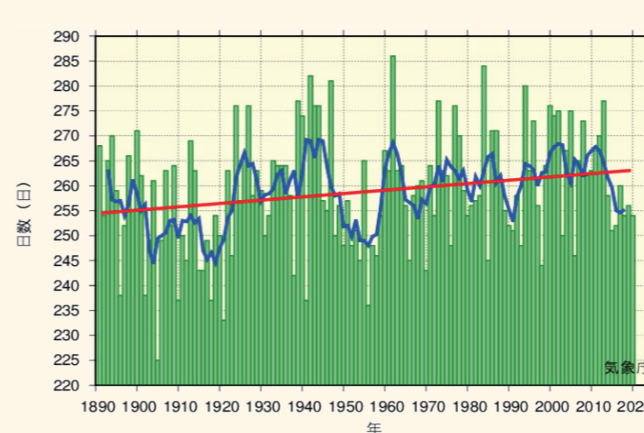
# 雨の降らない日の変化

➤ 21世紀末には雨の降らない日\*が-/  
約9日増加（2℃/4℃上昇シナリオ）

これまで

名古屋(名古屋市)では雨の降らない日が100年あたり**約7日**増えています。

名古屋(名古屋市)の年間無降水日数



これから

愛知県を平均した変化量を示す

2℃上昇シナリオ

愛知県では雨の降らない日には有意な変化はみられません。

4℃上昇シナリオ

愛知県では雨の降らない日は年間**約9日**増えます。



\*雨の降らない日: 日降水量1.0mm未満の日

→ 大雨による災害発生や水不足などのリスクが増大

気候変動による一般的な影響を記載したものであり、愛知県について評価したものではありません。気候変動の影響については環境省『気候変動影響評価報告書』等をご覧ください。